

第 667 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組
「BSNニュース ゆうなび」

(放送日時：2021 年 5 月 7 日（金）18：15～18：45)



令和 3 年 5 月 25 日

BSN新潟放送

第 667 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 3 年 5 月 25 日 (火) 午前 11:00~

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 5F 511 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長	古賀 豊	副委員長	佐藤 元
委 員	高木 言芳	委 員	石坂 智恵美
委 員	大橋 未来子	委 員	稻荷 善之
委 員	三井田 由香		

○審議番組事前レポート提出

委 員	馬場 幸夫	委 員	広川 和義
委 員	渡邊 信子		

○放送事業者側出席者

社 長	佐藤 隆夫	専務取締役	島田 好久
メディア本部長	五十嵐 幹史	情報センター長	小湊 潤

<説明員> 情報センター 報道部長 酒田暁子

事務局 金山 英功 (編成局テレビ編成部部長)

4. 議題

1 報告事項 令和 3 年 6 月の番組について (各局長)

2 審議事項 テレビ番組

「B S Nニュース ゆうなび」

(放送日時: 2021 年 5 月 7 日 (金) 18:15~18:45)

5. 議事の概要

佐藤社長のあいさつの後、各局長からの 6 月度番組報告に続いて、
テレビ番組「B S Nニュース ゆうなび」について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- わずか1～2週間前のニュースにも関わらず、懐かしく感じた。10年後、20年後には「この時代はこうだった」という、いい資料映像になっているだろう。
- 「どーいん新潟+」について、アルビレックス新潟の企画回だったが本編は大人しく、凡庸。YouTubeでのアフタートークは詳しく掘り下げており、おもしろかった。この良さを本放送でも見られるといいのではないか。また、このコーナーに渋谷氏を起用した経緯・理由を教えてほしい。
- 「どーいん新潟+」でアウェーツーリズムとアルビレックス新潟と街との一体感の醸成といった課題を他の地域と比較しながらわかりやすく示していたが、その先の提言があつても良かった。
- とても分かりやすく、安心感・清潔感が感じられた。見終わった後、清々しい気持ちになれた。
- ニュース冒頭に、ラインナップが出ると良い。
- 紫外線情報で、キャラクターが不思議な感じ。また、「非常に強い」「極めて強い」の表現が曖昧。どちらが強いのかわからなかった。
- 以前に比べると、硬いイメージの報道番組っぽさが薄くなり、軽く感じられた。

～新潟放送 情報センター 報道部長 酒田暁子より～

この度、お忙しい中報道部が制作している県内ニュース「BSNニュースゆうなび」を視聴していただき誠にありがとうございました。

今回はこの春から新たにスタートした隔週金曜日のコーナー「どーいん新潟+」を盛り込んだゆうなびをご覧いただきました。この「どーいん新潟+」はBSNの麦島アナウンサーと県内出身でIT関連の若き起業家、渋谷修太さんが「どうなっているの?」と疑問を抱くテーマについて経済的視点で切り込んでもらうというものでした。また、ユーチューブと連動することでこれまでテレビのニュースに関心がなかった若い世代にもアピールできたらという狙いもあります。委員の皆さんからはコメントーターの人選のあり方やスタジオでの演出方法など様々な意見が出され、今後に生かせるなというアドバイスがたくさんありました。また、今後はネットやユーチューブなどデジタルメディアとの連動には評価していただく意見もきかれ、今後さらにこのコーナーを成長させられるように取り組んでいきたいです。さらに委員からは報道の在り方について厳しいご意見も出され、私共、報道部としてしっかりと基盤をつくり報道することの意味をしっかりと考えていきたいです。